

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 151 号)

発行日：2020 年 (R2) 2 月 14 日 編集/発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住<sup>いますみ</sup>)

E-mail：[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)

近頃は新型コロナウイルスの話題ばかり続いています。オーストラリアでは史上最悪の火災も。CO<sub>2</sub>の排出量は全豪年間の70%にも達するとか。コアラやカンガルーの悲惨な姿が報道されました。もともと火災の多い国で計画火災も実施されていましたが、これほどの火災は想定外。

ユーカリの木は「ガソリンツリー」ともいわれ油分が多くよく燃える。やっと大雨が降りだしたとか。火災は終息へ…。今度は洪水？しかし、新たな芽吹きでCO<sub>2</sub>の大量吸収が始まるはず。これはやはり循環だと思うのですが…。実際どうなるのでしょうか。温暖化との影響は？

オーストラリアは石炭が重要産業。CO<sub>2</sub>の対策には消極的だそうです。その石炭の最大輸出国が日本というのも驚きです。COP25で両国は化石賞をいただいています。石炭は火力発電利用のため。オール電化で電気代が安くなる？と宣伝されていますが、さらに消費量をどう減らすかが課題なのでは。生き方の再検証ですよ。 「知足」は老子の言葉。「足るを知る者は富む」ということだそうです。(以前にも書いたか?) 豊かさを求め多くのもを欲しても豊か(富む)にはなれないのでしょね。そこが凡夫。あれも欲しい、これも欲しい。残念ながら欲は尽きません。「幸せ」を求めているはずなのに。これも欲か? カッコつけすぎ?失礼しました。

(今住 2月13日作成)

## 定期活動★1月26日(日) 協働作業! 歩道整備・第1湿原刈り 10名で作業(内協働1名)

毎年恒例になってきた協働作業。里山大学OB会「北摂里山



この中に1人の協働参加者が 緊張?

く)ところが1名???実は、**現役里山大学(8期)受講中の方が参加してくださいました。**パートナーの方が「愛す会」の会員で情報が入ったようです。紙面でも紹介しましたが里山大学の「作業安全講習」は丸山湿原で行われています。その時は用があり参加できなかったとのこと。宝塚在住で、丸山湿原を知らないのも何なので「物見遊山」?失礼。どんなことをしてるのか体験に来られたとか。体験どころかしっかり作業していただきまし



第2湿原への歩道 ヒサカキの刈り取り



短時間ですっきりと



を覚えている児童がいました。「般若心経」と「光明真言」。たいしたもんだ。やはり仏様が衆生を



保護者と児童が一体となった作業

照らしているのでしょうか？唱えながら一緒に歩きました。私は「般若心経」途中までで…。

環境学習です。まずマイクロバスが到着。ちょっと前からからメジロ（目白）、エナガ（柄長）、ヤマガラ（山雀）の群れがいました。バスに驚いて飛んでいきましたが鳥の話は少々。そして本日の作業内容説明。まずはメイン作業、枯れ草（ヌマガヤ）の運び出し。「草の中にはトラップが仕掛けてあるので注意すること」と。すぐ反応が「トラップって何〜？」素晴らしい。意味は「罫」ですが、湿原内に生えているイバラ（茨）が運ぶ草の中に入っていることがあるので注意が必要と説明。もう一つは「ノコギリ作業」。今回は斜めに倒れたり、株立ちになったリョウブ（令法）を伐採して用意。かなり太いもの（約 20 cm）もあり。それを玉切りしてもらいます。西谷の子は多くがノコギリの使用経験があり十分作業できます。（あくまでも体験ですが…なぜか助かります。）こちらも、近くでノコギリを振り回すと当然ケガをすると実演を交え説明。しゅっぱーっ！竹筒ポストに石。そして、道々これまでに観察したことを思い出しながら歩きました。お経もあり。



先生も一体となって作業

第1 湿原に到着。もう一度注意事項を確認。切り株が

あることにも注意。湿地に入ってしまうと動けなくなることも。2班に分かれノコギリ・草の運び出し、それぞれ約30分の作業。少々の休憩後入れ替え。楽しみながら？あっという間に草と木が片付いていきます。「しめしめ。助かるわ〜」と心の声が漏れないように気を付けていました。あくまでも体験ですから。天気も朝は冷えたものの春のような陽気になりました。どこからか氷を見つけてサングラスのようにしたり、いつまで溶けないで持っていられるか楽しんでいる姿もありました。子どもは遊びの天才です。保護者の方、先生方も精力的に作業（体験）していただきとても助かりました。作業体験？う〜ん？西谷小学校との協働作業ですね。ええんやろか？



かなり太いリョウブの玉切り

その後両生類の卵塊を探しに。卵塊近くで作業をしたり氷を触ったりしていたのになぜか卵塊には気がついていない。不思議ですね。やはり世の中には見ようとしないと見えないものや、感じようとしないと感じられないことがいっぱいなのかもしれません。私は氷には気がつかなかったし…。アンテナは子どもも大人もしっかり立てていたいものと思いました。卵塊を触ったり、セトウチサンショウウオの卵囊を見たり、オオカマキリ（大蟻螂）の卵を持って帰ったり、発見いっぱいの作業と観察でした。最後にはカヤネズミ（茅鼠）の巣まで見つかりました。



氷のサングラスでご満悦

帰り道は「勇者」と化した男の子が棒を剣に見立て勇敢に湿原を後にしました。ちなみに西谷では昔、木の棒のことを「けんぼう（剣棒）」と言いました。今でも言うのでしょうか？「けんぼう」



疲れた勇者はしばしの休息 ご苦労さん

はバス持ち込み禁止らしく、秘密の場所に隠されました。必ず取りに来るんやで！勇者よ！最後に今日の振り返りを行いました。勇者たちは疲労困憊。しばしの休憩。ワークシートを書いている子も？「両生類について」とタイトルがあったような。おー！そんな課題が出ていたのか？できたでしょうか心配です。今日は協働作業でしたから…。体験ですが…。その後お別れの挨拶をしてバスは去って行きました。ありがとうございました。来年度もぜひ一緒にしましょう。協働？頼りにしています。

### 定期活動★2020年2月8日（土）基礎調査 センサスライン設置

#### 第1 湿原又マガヤ運び出し・第4 湿原又マガヤ刈り 8名で活動

目的	市内	市外
丸山	38	27
ハイキング	6	5
その他	23	31

来場者数 計 130 人  
(竹筒ポスト人数)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度 (EC)	PH
入口	10:00	8.5℃		
第3 湿原	10:36	【6.2℃】	31.3 μS/cm	6.7
視点場	10:44	7.8℃	26.7 μS/cm	6.5
第1 湿原	10:49	【4.8℃】	29.0 μS/cm	6.7
第2 湿原	11:00	【3.3℃】	34.9 μS/cm	6.9



定点観測

本来は調査日ですが、今回も同時進行で又マガヤ処理と両生類卵塊数調査のセンサスラインを張っていきます。会員はそれぞれ慣れている得意の作業を。しかし、やはり暖かい。卵塊数調査日には全て孵化しているかもしれません。今回は約1週早めた日程。それでもどうなっているのか想像がつかえません。こんなちっぽけな調査から温暖化などの社会問題が見えてくるのも興味深いことです。ただの偶然かもしれませんが…。**あまりにも暖かい日が続くので。**しかし、よくよく考えてみるとまだ2月の前半。特にセトウチサンショウウオ(旧カスミサンショウウオ)は。これからが本番のはず？なんか心配やな～。昨年は何かに荒らされてたし。杞憂に終わることを願います。



ライン杭のチェック

作業は順調に進み午前中に第1 湿原の又マガヤ処理とライン張りは完了。ただライン用の基準杭は1年間又マガヤの中。まさしく藪の中状態です。又マガヤ刈り取りの時、切ってしまったりしています。いつの間にか抜けて無くなっているのも。確認に苦労していました。湿原面積の変化で杭の位置と水辺の位置の不整合も出てきています。どうするか検討が必要か？同じ時期、同じ位置からが原則ですがどうでしょうか。ご意見ください。



運び出しは続きます

さらに「勇者たち」いや有志で午後第4 湿原の又マガヤ刈りを行いました。7割は刈り取れたのではないのでしょうか。刈り取りだけです…。またよろしく。

**両生類セミナー・卵塊数調査予告** ★2月23日（日）兵庫県立「宝塚西谷の森公園」「丸山湿原」

会員についてはお弁当の予約を受け付けます。19日（水）までに今住までご連絡ください。

**次回活動日** 23日（日）セミナー卵塊数調査 3月14日（土）22日（日）4月11日（土）